

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科： 芸術 科目： 書道 I 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 A, B, C, D, E, F 組
 教科担当者： 林 徳子
 使用教科書： (教育図書 書 1)

教科 芸術 の目標： 美術・音楽・書道の芸術に関する専門教育を通して、我が国の芸術文化を支え、国内外での芸術文化活動により社会貢献できる心豊かな人間の育成を図る。

【知識及び技能】 芸術に関する教科の特質を理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けようとする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標： 書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の基本的な技術を身に付けるとともに、表現するうえで適切な技法を身に付けていく。	書の歴史的背景、書家の人物像にも思いを馳せ、筆法の説明も自らの言葉でできるように、臨書、鑑賞を重ねていく。	自主的に創意工夫を重ねていく学習態度を身に付けていく。表現する技術と感性を自ら高めていくことで、生涯にわたって、書、芸術を愛好する心情を育てていきたい。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮	鑑 賞					
1 学 期	書道の基本					姿勢執筆や、用具、用材について理解し、書の学習方法を把握している。				4
	楷書の学習					筆法を理解している。臨書するためにじっくりとお手本に向き合おうとしている。				6
	楷書の学習					九成宮禮泉銘と孔子廟堂碑との違いを意識して、臨書に臨んでいる。				6
	書の作品制作の導入					孔子廟堂碑 筆法を知り、九成宮禮泉銘との比較してそれぞれの特徴を理解している。				8
2 学 期	作品展示					互いの作品への鑑賞することは、展示をしていく上で重要であることを理解し、協力して作業を進めようとしている。				10
	行書の学習					蘭亭序の臨書を通して、行書について理解する。				8
	行書の学習					行書の基本を理解し、行書体で書くことができる。				12
3 学 期	仮名の学習					変体仮名、連綿の構造などを理解し、日本の伝統的な仮名への関心を深めている。				8
	漢字かな交じりの学習					漢字かな交じりの書で創作の基本を理解し、創作している。				8
										合計
										70